

療養病棟のご紹介



ベッド数

▶ 1人部屋 6部屋

▶ 4人部屋 8部屋



計 38床の病棟です

療養病棟の特徴



一般病棟での急性期治療を終えられた患者様が、引き続き慢性期の治療や療養上必要なケアを受けながら、退院後の生活環境を整えるために過ごされる病棟です。

また、療養生活を送る中で、人生最後の大切な時間を過ごす方もおられます。

浴室は2種類あり、 患者様の状態に合った入浴介助を行っています

寝たまま入れるミスト浴



座って入れるカトリア浴



療養病棟には高齢の方の入院が多いため、 床ずれ予防にも力を入れています

病棟で使用している褥創予防の高機能マットあれこれ・・・



現在病院には高機能マットを含むベッド
マットが計7種類あります。
患者様の状態に合わせて、一人一人に
適したマットを選択して使用しています。

褥創予防や皮膚保護のために
保湿ケアやスキンケアにも力を入れて
取り組んでいます。

保湿ケア用品のあれこれ・・・

最近では保湿ケア用品も種類が多くあり、選ぶのも楽しいですよ♪



患者様の状態に合わせた形態のお食事を提供しています



私達病棟スタッフは・・・

患者様がその人らしく療養生活を送られること、
患者様・ご家族様の
「こうしたい」「こうありたい」を
1つでも多く実現出来ることを目標に、
日々患者様のお世話をさせて頂いています。



例えば「寝たきりだけど、家族を自宅に退院させたい！」という希望があれば・・・

体位交換の指導



栄養の指導



このように

本人と家族様の想いに寄り添い、多職種と連携をしながら、退院後の生活に向けて必要な環境調整や退院指導を行っています！

指導の際にお渡しした資料より

身体の向き変えの介助方法について



《準備するもの》

- 座布団（右足用：1枚）
※座布団は2つ折りにして使いましょう
- ビニール袋：1枚（背中への圧抜き用）

《体位交換の方法》

●左を向いてもらう時：

- 「背中（肩甲骨の上あたり）」と「おしり」を支えるようにしましょう！
身体の広い面積の部分を支えてあげることで、より少ない力で横に向いてもらうことができます。
- 足の間に座布団などの厚みのあるクッション（座布団）を入れましょう！
動いたときに骨折した足（右足）への負荷と痛みを軽減することができます。

▼左向きへの介助をしたとき



背中とおしりで支える！

拡大すると・・・

●右を向いてもらう時：

- 足の間にクッション（座布団）は、いりません。
- 左足を曲げてもらうと、楽に横に向いてもらうことができます。
- 本人にベッドの柵を持ってもらうと、横向きの姿勢が安定しやすくなります。

▼右向きへの介助をしたとき



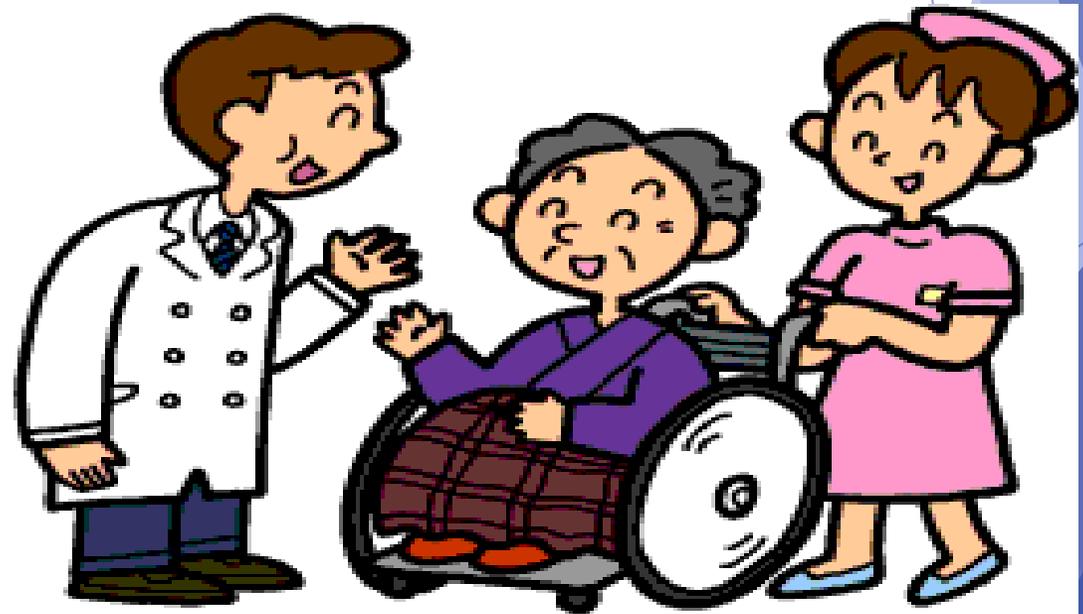
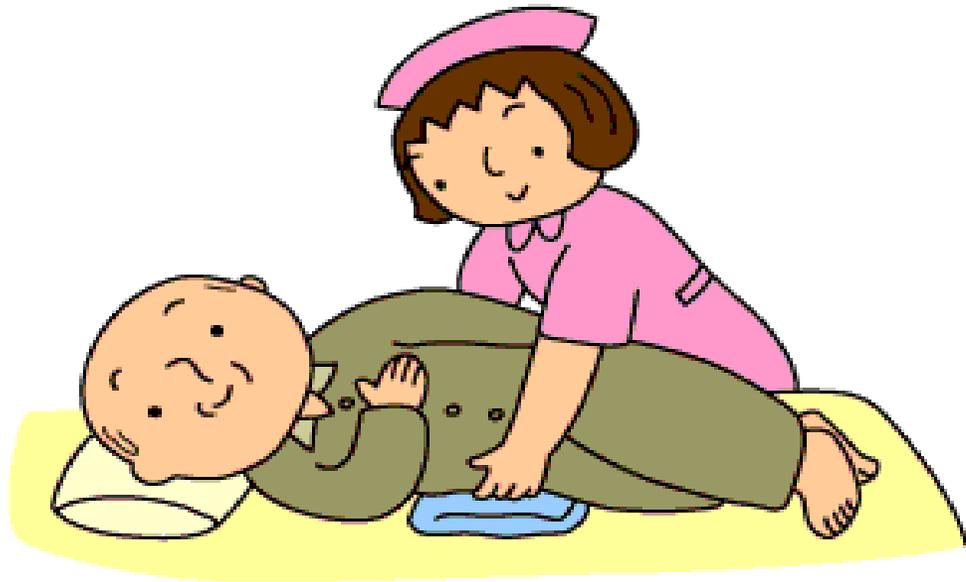
《眠るときの体位》

- 両足、もしくは骨折している足の下に折りたたんだ座布団をおきましょう！
 - 自動体位交換機能のあるベッドのため、定期的に体位交換を行う必要はありません。
- #### ●夜間の圧抜きの方法：
- 夜間は息子が起きられたときに、1回しましょう！
- * 「どちらか一方に横向きになってもらう」
 - * ビニール袋を手に被せ、本人とベッドの間に「肩→背中→お尻→足」の順で滑り込ませる



また、『一時的に外出をさせてあげたい。』

『家に帰らせてあげたい。』といった希望についても、ご希望に沿えるよう調整を行い、必要があればご家族様へ指導を行っております。



～病棟でのカンファレンス風景～



看護補助者さんや地域連携室の担当者とも情報交換を行っています。

カンファレンスでは、患者様と御家族の希望を踏まえ、今後の方針について話し合います。



～他職種カンファレンスの様子～



医師、看護師、リハビリ担当で情報共有や今後の方針について話し合いを行っています。



療養病棟からの眺めはとても良いです。
食堂からは毎年、
満開の桜を眺めることができます。

今年も
桜が綺麗だわ～



今後も患者様が快適な療養生活を過ごしていただけるよう、心を込めて援助・ケアを行ってまいります！



療養病棟スタッフ一同